

熊本城復元整備基金管理システム関連機器等賃貸借 仕様書

熊本市

文化市民局 熊本城総合事務所 総務管理課

1 件名

熊本城復元整備基金管理システム関連機器等賃貸借

2 目的

「熊本城復元整備基金管理システム」は、平成10年4月から令和7年（2025年）3月末まで、約25万7千件の一口城主及び復興城主における寄附申込者情報をデータ化したものであり、一口城主及び復興城主の寄附申込者の管理業務を正確・迅速・安定的に運用するとともに、その情報を活用し、復興城主受付に設置しているデジタル芳名板でスムーズな検索を可能にすることで利用者の利便性を高めるものである。なお、新たな寄附者情報を随時入力するためシステム登録件数は増加するもの。

本調達は、現行稼働中の機器等の賃貸借期間満了に伴いサーバ機器等を更改するため、新たに5年間の機器賃貸借を行う。

主に以下の内容を行うもの。

- (1) 情報システム機器の賃貸借
- (2) 情報システム機器の搬入・設置・設定

3 履行場所

熊本市中央区手取本町1番1号（本庁3Fサーバ室）

熊本市中央区花畑町9番6号SPRING 熊本花畑町3階（熊本城総合事務所総務管理課）

熊本城域内（二の丸公園内施設）ほか

4 賃貸借期間及び納入期限

(1) 賃貸借期間

令和8年（2026年）4月1日から令和13年（2031年）3月31日まで（60ヶ月）

※ただし、発注者の責めに帰すべき事由による損害を除き、賃貸借期間開始前の令和8年（2026年）3月31日までは、受注者が調達機器の補償をすること。

(2) 納入期限

令和8年（2026年）3月31日までに設置・設定を全て完了すること。

5 業務要件

(1) 業務実施計画書

受注者は契約後直ちに業務実施計画書を本市に提出し、承認を得ること。実施計画書には、納入スケジュール、実施体制・人員、進捗管理方法等の本業務実施に必要な事項を含めること。履行中にスケジュール、人員配置等に変更があった場合は本市の承認を得ること。

(2) 賃貸借物品一覧

受注者は契約後直ちに賃貸借物品一覧を本市に提出し、承認を得ること。物品一覧には、機種・型番、製品名、台数、設置場所等を記載すること。

(3) 業務管理

本業務を円滑に進めるために、適切な業務管理を行うこと。

ア 進捗管理

本稼働まで定期的に実施する定例会において作業進捗を報告し、確実にスケジュール管理を行うこと。定例会の頻度等は本市と協議のうえ決定する。

イ 作業計画・報告

機器導入に伴う作業計画書を遅くとも作業日の開庁日 10 日前までに提出し、導入作業前に本市の承認を得ること。また、作業完了後 2 営業日以内に、作業報告書を提出すること。

ウ 課題管理

作業遂行上発生した課題については課題管理表として管理し、早期に解決するための検討を行うこと。緊急に解決すべき課題が発生した場合は、本市と臨時協議し、速やかに課題解決を行うこと。

(4) 遵守すべき法令等

受注者は、本業務の遂行にあたって、個人情報保護法、熊本市情報セキュリティポリシー（基本方針及び対策基準）、その他関係法令を遵守すること。

6 賃貸借要件

(1) ハードウェア要件

ア 全てのハードウェアにおいて、新品を納入すること。

イ 納入時において製造及び販売が継続中かつ実績があり、可能な限り最新の製品であること。

ウ 納入後の運用・保守・バージョンアップ等のサポートを迅速かつ継続的（賃貸借期間内全てに渡り）に保証できる製品を選定すること。

エ 賃貸借期間中において、製品のサポート終了等の理由により必要な機能を提供できなくなった場合、代替品納入及び設定等を受注者負担により実施すること。

オ 本市では、熊本市グリーン購入指針に沿って物品等の調達を行っている。やむを得ない事情がある場合を除き、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」にて定める「環境物品等」に準拠した製品とすること。

(2) ハードウェア仕様

別紙 1 及び別紙 2 のとおり。

(3) ソフトウェア要件

ア ソフトウェアの数量は、機器仕様にに基づき受注者が選定した機器において必要となるライセンス数を満たすこと。

イ 納入物品のみならず、設置及び保守作業において必要となるソフトウェアについても、ライセンス違反がないようにすること。

ウ 納入後の運用・保守・バージョンアップ等のサポートを迅速かつ継続的（賃貸借期間内全てに渡り）に保証できる製品を選定すること。

エ 賃貸借期間中において、製品のサポート終了等の理由により必要な機能を提供できなくなった場合、代替品納入及び設定等を受注者負担により実施すること。

(4) ソフトウェア仕様

別紙 1 及び別紙 2 のとおり

7 搬入・設置・設定要件

本調達に機器は、熊本城復元整備基金管理システムを稼働させるために必要な機器であり、システムが支障なく安定稼働する環境の構築を行うこと。

(1) 搬入・設置

ア 機器ごとの詳細な設置場所は、別紙 1 及び別紙 2 のとおり。

イ 納入機器は、電源環境、配線ルート等の事前調査をしたうえで設置すること。

ウ 作業の前日（前開庁日）に、作業内容、作業時間（開始時刻、終了時刻）を本市に連絡すること。

エ 本市施設において、平日時間外や土日祝日の作業が必要となる場合は事前に届出を行うこと。

オ 指定場所への搬入後、機器の開封、設置、配線作業を行うこと。

カ 搬入・設置作業については、本市職員の立会いのもと行うこと。

キ 納入機器の設置に必要な LAN ケーブル及び電源配線等の資材、配線作業は本調達に含めるものとし、機器仕様で示す構成・数量を踏まえ試算すること。LAN ケーブルは Cat6 以上、水色とする。

ク 配線した電源・LAN ケーブルには、接続先を示す線名札（配線タグ）を両端に付けること。

ケ 納入機器の設置に必要な付属品（取付用金具、接続部品等）については、本仕様書の記載の有無に関わらず本調達に含めること。物品については新品を使用すること。

コ 搬入時は各施設の設備及び既存機器を保護するために、必要な養生等の措置を行うこと。また、設置後は本市と調整のうえ梱包材等の不要なものについては処分を行うこと。

サ 納入機器の設置においては、必要に応じ耐震施工を行うこと。

シ 搬入・設置までの機器の保管場所については、受注者で準備すること。

(2) 設定・試験

ア 本調達における機器、ソフトウェア（仮想基盤及びネットワーク）等が正常に動作するための設定及び動作確認、試験を確実に行うこと。

イ 熊本城復元整備基金管理システムが稼働するためのソフトウェア、ミドルウェアが正常に動作するよう、本市及びシステム構築業者と調整のうえ、機器へのインストール、設定、動作確認を行うこと。

ウ 納入機器の設計、設定作業は、システム構築業者と綿密な連携・調整のうえ実施すること。

エ 納入機器の設定作業は、原則として設置場所への搬入前とし、現地での作業は

必要最小限にすること。

オ 端末には、OS、ウイルス対策ソフト、基金管理入力ソフトウェアをインストールし、システム構築業者と連携し、必要な設定、動作確認を行うこと。

カ システム構築業者と連携し、システムテストを実施すること。

8 賃貸借満了時における機器の返還、情報の消去

(1) 機器の返還

ア 賃貸借期間満了時における機器の返還について、設置場所からの搬出、運搬も本調達に含むこと。

イ 搬出作業については、日時、機器の設置場所等の調整を本市と事前に行うこと。

(2) 返還機器のセキュリティ対策

賃貸借期間の満了時において、機器内部の記憶装置からの情報漏えいリスクを軽減するため、情報システム機器が本市の管理下にある間（機器返却前）に、情報を復元困難な状態にする措置を徹底すること。

ア 情報の消去方法

受注者は、情報システム機器返却等時、情報漏えい対策として、情報システム機器の記憶媒体を以下の（ア）～（ウ）の手順で、情報の復元が困難な状態（NIST SP800-88Rev. 1 Purge レベル以上）とすること。

（ア）原則、受注者は、庁舎内あるいは既存設置場所で、記憶媒体を以下のいずれかの手法により、情報の復元が困難な状態（NIST SP800-88Rev. 1 Clear レベル以上）とすること。なお、作業完了後は、本市職員の確認を受けること。

- ① 物理的な方法による破壊
- ② 磁気的な方法による破壊
- ③ OS 等からのアクセスが不可能な領域も含めた領域のデータ消去装置又はデータ消去ソフトウェアによる上書き消去
- ④ ブロック消去
- ⑤ 暗号化消去
- ⑥ OS 等からアクセス可能な全てのストレージ領域をデータ消去装置又はデータ消去ソフトウェアによる上書き消去

（イ）受注者は、（ア）の完了後、任意の場所で、記憶媒体を（ア）の①～⑤のいずれかの手法によって情報の復元が困難な状態（NIST SP800-88Rev. 1 Purge レベル）とすること。ただし、（ア）において、同等以上の状態にしている場合、省略することができる。

（ウ）受注者は、本市との協議で定めた期限までに、（ア）、（イ）の措置が適切に完了したことを証明する完了証明書等を本市へ提出し、承認を得ること。

イ 情報の消去に係る管理

（ア）作業内容、情報の消去に係る作業計画書及び完了証明書等について事前に本市の承認を得ること。

（イ）作業場所にある他の機器に影響を与えないよう十分に考慮すること。

- (ウ) 賃貸借期間中の故障対応時等においても(ア)と同様の扱いとすること。完了証明書等の提出期限は、本市との協議で定めるものとする。ただし、(ア)と同様の扱いが出来ない場合は、双方協議の上、対応方法等について定めるものとする。

9 成果品

次に示す成果品を提出期限までに遅延なく提出し、本市の検収・承認を得ること。その他本市と協議のうえ必要と判断された成果品についても提出すること。成果品は基本的に電子媒体での納品とするが、別途本市から指示されたものについては紙媒体でも納品を行うこと。

成果品

成果物名	記載場所	電子媒体	提出期限
業務実施計画書	5 (1)	1 式*2 組 (正・副)	契約後ただちに
賃貸借物品一覧	5 (2)		契約後ただちに
納入スケジュール (計画書がない場合)	5 (1)		契約後ただちに
業務実施体制 (計画書がない場合)	5 (1)		契約後ただちに
作業計画書・作業報告書	5 (3)		随時
課題管理表	5 (3)		随時
ネットワーク構成図	契約後ただちに		
電源・LAN系統図			
各詳細設計書			
情報消去に係る作業計画書	8 (2)		賃貸借満了時
情報消去に係る完了証明書	8 (2)		賃貸借満了時

10 特記事項

- (1) 受注者は、全ての機器に動産総合保険を受注者負担により加入すること。
- (2) 本業務の遂行にあたって、本仕様書に明示なき場合又は疑義が生じた場合、本市、受注者双方協議のうえ定めるものとする。

熊本城復元整備基金管理システムサーバー及び端末

	項目	基本仕様(性能については同等以上とする)	単位	備考
サーバー関係	本体	ラック型	1台	クライアントアクセスライセンス(CAL): 5本付
	筐体			
	CPU	インテル® Xeon® E-2434 3.4G, 4C/8T, 12M キャッシュ, ターボ, HT (55W) DDR5-		
	2次キャッシュメモリ	4800 8MB以上		
	メモリ	16GB以上		
	ハードディスク	4TB 7.2K RPM SAS ISE 12Gbps 512n 3.5インチ ハードドライブ 以上		
	DVD-ROM	外付方式		
	キーボード/マウス	標準添付		
	OS	Windows Server 2025 スタンダード		
クライアント関係	KVM	USB/VGA対応/18.5インチワイド	1台	
	スタンド	サーバ本体とUPSを並べて固定し設置できること	1台	
	無停電電源装置	ラックマウント型/定格電圧AC100V以上/出力容量750VA/525W以上	1台	
	本体		2台	
	筐体	ノート型PC		
	CPU	インテル® Core™ i5-1334U プロセッサ [4.60GHz(P4.60GHz/E3.40GHz)/10コア(P2+E8)]		
	2次キャッシュメモリ	24MB以上		
	メモリ	16GB以上		
	SSD	500GB以上		
	ネットワーク	10/100/1000BASE-Tインターフェースを搭載すること		
	インターフェース	USB×3ポート以上搭載すること(TYPE-A、TYPE-C合計)		
周辺機器関係	キーボード/マウス	テンキー標準	1台	
	OS	Microsoft Windows 11 Pro 64bit(日本語版)		
	オフィスソフト	Microsoft office Home & Business 2024		
	データベースソフト	Microsoft Access 2024		
	ディスプレイ	15.6インチ		
	レーザープリンタ(モノクロ対応)LED方式	ネットワーク対応、解像度1200dpi以上(2400dpi相当以上) 用紙サイズ: ハガキ〜A3まで対応 印刷速度(Aモノクロ): 40枚/分以上 ウォームアップ時間: 電源ON時: 19秒以内 ファーストプリント時間: 5秒以内(A4) 耐用枚数: 120万ページ/5年 増設ユニットでA4、A3トレイを用意する事 内蔵メモリ: 128MB以上		
	HDD	ネットワークハードディスクドライブ 実使用容量: 2TB(RAID1対応) インターフェース: 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T準拠	1台	・サーバ機のデータバックアップ用に使用
	ルータ	3ポート以上(10BASE-T/100BASE-TX、ストレート/クロス自動判別機能) ※LAN1ポートは4ポートスイッチングハブ	1台	推奨メーカー及び実績のある機種 YAMAHA: RTX-1210、RTX-1220 AlidTelesis: AR415S、AT-AR2050V Cisco: 890シリーズ
ソフトウェア関係	基金管理システムソフトウェア	機器貸借終了に伴う再調達	1	最新OS、データベース対応版とすること
	データベースソフトウェア	Microsoft SQL Server 2022スタンダード(サーバー) Microsoft SQL Server 2022スタンダードユーザー CAL(端末 最低導入価格)	1 5	現行システムが移行可能な環境をセットアップすること
	ウイルス対策ソフトウェア	サーバー・クライアントに適した物(5年間の更新費用含む) 3×5=15	15本	自動パッチ適用可能な設定を行うこと
	バックアップ用ソフトウェア	VERITAS Backup Exec相当 (サーバOSに適用可能なもの(メディア含む))	1本	・目次自動バックアップの設定(差分ファイルによるバックアップ) ・障害対策用バックアップイメージの準備
	瞬電対策用ソフトウェア	PowerChute Business Edition Deluxe for Windows相当 (サーバOSに適用可能なもの(ファイルサーバ用))	1本	
導入設定作業・運用保守	一時導入費用	下記費用を一切含むこと	一式	搬入時の梱包材等は持ち帰ること サーバ機器、ネットワーク機器等を設置すること 作業後に不具合が生じた場合は改修、修復する為の全ての責を負う事 サーバー/クライアント等は耐震金具及び盗難防止金具等で固定すること 電源及びLAN配線はモール等で養生すること
	機械搬入	全機器における導入時の搬入を行うこと		
	現地設置・調整	全機器における導入時の設置を行うこと		
	初期インストール	全機器における導入時のソフトウェアインストールを行うこと 及び動作確認		
	ネットワーク設計	ネットワークの設計を行うこと		
	サーバ設定・環境設定	ネットワーク構築、サーバのセットアップを行うこと(RAIDの構築費用等も含む)		
	ソフトウェア設定	データベース/バックアップ/ウイルス対策/瞬電対策の各種ソフトウェアのセットアップ		
	LAN配線	既存の配線で利用できるものは利用すること その他必要な部分がある場合は新規で配線を行なうこと		
	ドキュメント作成 マニュアル作成	ネットワーク配線図、ネットワーク管理表、機器構成図を提出すること システムリカバリ作業用のリカバリ作業マニュアル作成		
	移行立会い	システム移行作業を実施する際、立会いサポートを行なうこと		
	導入研修費用	以下ソフトウェアの導入研修・操作説明を行なうこと (バックアップソフト)の操作説明		
その他	設置場所			
	ファイルサーバ	熊本市中央区手取本町1番1号(本庁3Fサーバ室)		
	管理用クライアント機	熊本城内(二の丸公園内施設)ほか		
	ネットワーク機器	〃		
	周辺機器	〃		
保守について	保守について	機器の保守は5年間とする 保守はすべてオンサイトとリモートバックが必要な場合は代替を設置のこと		

復興城主検索・表示システム

	項目	機器仕様(同等及び上位機種可)	単位	備考
サーバー兼検索機	本体			
	省スペース型 (入力装置専用台に収納可能なこと)	CPU インテル® Core™ Ultra 7 265 vPro® (13 TOPS NPU, 20 コア, 最大 5.3GHz) 以上 メモリ 16GB(2400MHzDDR4)以上 ハードディスク 512GB以上 2.5インチSSD	1台	
		ネットワーク 10/100/1000BASE-T対応 USBポート×5 ・シリアルポート×1以上搭載すること キーボード/マウス 寸法 (高さ: 19cm、幅: 9cm、奥行き: 18cm 以内)		
	OS/内蔵ソフト	Microsoft SQLServer2022 StandardED日本語 Microsoft Windows 11 Pro 64bit(日本語版) Microsoft Access2021	1式	
検索装置	入力装置	タッチ部 投影型静電容量方式 表面処理『クリア』 タッチ耐久性『無制限』※標準的な使用法 表示部(TFTアクティブマトリックス方式) 解像度 1920×1080(1677万色) コントラスト 1000:1 輝度 225cd/m2 視野角 上下左右89度 位置精度(±1.3mm) 付属品 ・アナログRGBケーブル ・USBケーブル ・ソフトウェア(TouchTools)	1台	
	独立型専用スタンド	・専用スタンド(データ更新用USBポート内蔵、ロック装置付き) ・上記タッチパネルを上面に埋め込み装備可能なこと ・端末パソコン+無停電電源を収納可能なこと ・電源ケーブル/ネットワークケーブル用の出入口を2口装備していること ・背面下部のみメッシュパネルとし放熱性を高めること ・位置合わせポインタ内蔵(タッチペン)のこと ・耐震固定具	1台	
検索結果表示装置	65インチモニター(液晶)	解像度 3840×2160 コントラスト 4000:1 アスペクト比 16:9 デジタルサイネージ機能 専用スタンド	1台	vesaマウント
ソフト		復興城主検索・表示システム	1lic	再調達
備品	無停電電源装置	各入力端末ごとに1台(容量に余裕のあること)	1台	
	バックアップ用ハードディスク(ポータブル)	端末TPCに接続(4TB以上USB接続)独立型専用スタンドに内蔵できる物	1台	
	ネットワークHUB	8ポート以上(10/100BaseT)	1台	
	配線ケーブル/電源タップ	必要数(現地合わせ作成のこと)	1式	
調整関係	機器搬入	指定場所に設置すること		
	ネットワークの敷設	サーバー/クライアントPC及びクライアントPCの接続		
	システムのインストール調整	1台のPCへのインストール及び調整	一式	
	導入研修費用	導入教育/操作説明の実施を行うこと		
	マニュアル等作成	操作マニュアル/障害時対応マニュアルを作成のこと		
	その他	梱包材等は持ち帰ること		
その他	設置場所	熊本城域内(二の丸公園内施設)ほか		
	電源工事/配線工事	検索システム表示装置を接続する工事を行うこと 各フロアの入力及び表示端末向けに電源工事を行うこと		
	保守について	機器の保守は5年間とする 保守はすべてオンサイトとセンドバックが必要な場合は代替を設置のこと		